

令和7年8月25日

鳥 栖 市 議 会

議長 松隈 清之 様

文教厚生常任委員会

委員長 樋口伸一郎

副委員長 成富 牧男

委 員 中川原豊志

委 員 西依 義規

委 員 田村 弘子

委 員 緒方 俊之

委 員 牧瀬 昭子

文教厚生常任委員会報告書

本委員会は、所管事務調査を終了したので、その結果を下記の通り報告します。

記

1. 協議項目

子ども・子育てについて

学校施設について

(1)放課後児童クラブの支援員不足について

(2)入所待ち児童、保育士不足について

(3)子育て世帯への支援の充実について

スポーツ環境について

(1)現在の施設の状況及びグラウンドの不足について

(2)高齢者・障害者の健康づくりについて

(3)部活動の地域移行について

2. 協議の期間及び協議会開催内容

(1)文教厚生常任委員会（所管事務調査）

第1回 令和6年2月16日

・スポーツ都市宣言について、市民プールについて、サガン鳥栖U-15練習場について

第2回 令和6年2月26日（令和6年2月13日の視察に関する協議）

・田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の校舎修繕等の対応状況と今後の対応予定

- ・田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校以外の市立小中学校校舎修繕等の対応状況

第3回 令和6年8月22日

- ・市民プール、サガン鳥栖U-15練習場
- ・高齢者・障害者の健康づくりについて
- ・部活動の地域移行について
- ・学校施設について（田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の校舎修繕等及びそれ以外の市立小中学校校舎修繕等の対応状況と今後の対応予定）
- ・子ども・子育てについて

第4回 令和6年11月26日

- ・子育て世帯への支援の充実について
- ・現在の施設の状況及びグラウンドの不足について
- ・高齢者・障害者の健康づくりについて

第5回 令和7年4月17日

- ・スポーツ整備エリアの考え方、現在の進捗と今後について
- ・放課後児童クラブの支援員不足について
- ・入所待ち児童、保育士不足について

第6回 令和7年7月22日

- ・議会報告会における主な意見・提言と回答について
- ・人材確保に関するアンケートの結果について

第7回 令和7年7月30日

- ・部活動の地域移行について

第8回 令和7年8月8日

- ・人材確保に関するアンケートの結果について

第9回 令和7年8月18日

- ・所管事務調査における報告書について

第10回 令和7年8月25日

- ・所管事務調査における報告書について

(2) 視察調査

令和6年2月13日

- ・田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校
- ・田代小学校体育館
- ・田代中学校（議会報告会で出た「ドアの揺れを直してほしい」ところ）
- ・鳥栖中学校の雨漏り箇所（1階教室前棚付近廊下、東側廊下など）

令和6年5月13日～15日

- ・秋田県大仙市、岩手県盛岡市、岩手県北上市
大仙市

- ・小中学校における学力向上の取組について
- ・放課後児童健全育成事業業務委託について

盛岡市

- ・スポーツを通じた健康づくりの推進に関する条例について
- ・スポーツ推進計画アクションプランについて
- ・スポーツ推進計画について

北上市

- ・保険・子育て支援複合施設 h o K k o（ほっこ）について
- ・保育士等サポート事業について

令和7年7月7日～9日

- ・富山県富山市、石川県金沢市、福井県越前市

富山市

- ・N i X ストリートスポーツパークについて

金沢市

- ・金沢市子ども生活応援プランについて

越前市

- ・武生中央公園水泳場再整備後のプール授業集約化と民間委託について

(3)人材確保に関するアンケート【結果】

本委員会において、市内の放課後児童クラブ・保育所・認定こども園・幼稚園における支援員・保育士・幼稚園教諭の人材確保の現状について、令和7年6月13日から6月25日にかけて一斉に調査依頼を行った。計167件の回答を得、施設ごとに傾向を分析した。

(別紙参照)

3. 協議結果

1. 子ども・子育てについて

(1)学校施設について

令和6年2月13日に実施した現地視察（田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校）及び市内小中学校における校舎修繕等の対応状況と今後の対応予定について令和6年2月26日に所管事務調査を行い、同年8月22日に、その後の経過も含め、再度、同内容の所管事務調査を行った。

校舎修繕等の対応状況については、鳥栖中学校の雨漏り、鳥栖小学校、基里小学校の外壁の剥離など早急な対応が求められる事項があり、校舎の修繕等について学校からの要望があれば、市執行部として可能な限り対応していきたいとの報告があった。

当委員会としては、児童生徒の安全を最優先に考えることを求めることで意見の一致を見た。

提言：大規模改修の前倒しの検討や定期的な学校施設の安全点検を行い、危険箇所においては早急な対応をすることを求めた。

(2)放課後児童クラブの支援員不足について

令和6年5月13日に大仙市へ児童クラブの民間委託における検討の経緯やそのメリットデメリット等に関する行政視察を行った。大仙市においても支援員不足が問題となっていたが、民間委託を行うことで求人ノウハウや柔軟な働き方への対応により人材の確保が容易となり、また独自イベントの開催等により利用者からの満足度も向上していた。この視察の内容を受けて、当委員会としては今後も注視していくことを確認した。

また、人材確保に関するアンケートを通し、土曜日の他の学校との共同保育の実現、土曜保育の廃止または効率化、パワハラ・セクハラ・人間関係への対応、同じ職場の固定化の見直しなどの声があった。アンケート結果と執行部との協議を踏まえ放課後児童クラブの支援員の現状を確認し今後とも課題の解決に向けて委員会で協議していくことで意見の一致を見た。(別紙参照)

提言：放課後児童クラブの支援員不足の解消は、アンケートより「配慮が必要な子どもや保護者が多い」、「給与や待遇面」、「勤務時間や労働環境」などへ回答する方が多かったことから、処遇改善や職場の環境改善など、より一層の支援が望まれる。

(3)入所待ち児童、保育士不足について

人材確保に関するアンケートを通し、「仕事量や責任に比して給与が低すぎる」、「他職種より低い」、「療育支援体制の強化」、「5歳健診の早期導入」、検査が通らないと加配がつかない等の声があった。不足の主な要因として、給与や待遇面、配慮が必要な子どもや保護者が多い、勤務時間や労働環境であることの現状を確認できた。

提言：本市で働く保育士に対する、新たな独自予算の確保、及び処遇改善や職場環境改善など保育士不足の解消に向けたより一層の支援を求めた。

(4)子育て世帯への支援の充実について

令和7年7月8日に金沢市へ「金沢こどもまんなか未来プラン」について取組の経緯や子どもの貧困対策として具体的な施策に関する行政視察を行った。基本方針の一つである「困難を抱えるこどもと親を社会全体で支えるまち」では、①子どもの貧困対策の推進、②ひとり親家庭等の自立支援、③発達の心配や障害のある子どもたち、特に配慮を必要とする家庭への支援、④児童虐待防止対策と社会的養護の推進、⑤地域からつながる重層的な支援体制の強化などといった様々な独自の施策を学ぶことが出来た。当委員会としては、視察の内容を受けて今後も注視していくことを確認した。

提言：子どもソーシャルワーカー制度の導入、民間団体と連携した子どもの居場所づくりの支援、

困りごとが「言える」「見える」場づくりの支援を求めた。

※子どもソーシャルワーカー制度…生活に困りごとがある等、困っている子ども・家庭を支援するための金沢市独自の専門職です。電話や来所による相談だけでなく、家庭等に出向いて相談や支援を行うものです。

2. スポーツ環境について

(1)現在の施設の状況及びグラウンドの不足について

これまでも、小中学生がボール遊びを行えるグラウンドが市内に不足し、子どものスポーツを通した健全な体力づくりに支障をきたしているとの問題意識を執行部とも共有してきました。過去には、委員会としても調査費を確保して、具体的な可能性を出していただくこと、あるいは基本方針、基本計画の施策を先に検討すべきではとの意見もあったことからグラウンドの整備促進にむけ拍車をかけていく方向性を確認した。

提言：龍谷短期大学跡地をはじめ、様々な候補地の可能性を考え多目的に活用できる新規グラウンドの予算確保及び、早期整備を求めた。

(2)高齢者・障害者の健康づくりについて

越前市の武生中央公園水泳場で小学生のプール授業集約化を視察し、市民プールとしての役割だけでなく、スポーツジム等を併設し子どもからお年寄りまで利用しやすい、複合型の施設を視察した。本市でも水泳授業も見据えた、幅広い年代に利用して頂けるスロープ付きの温水プールなど、健康づくりにも寄与した施設の必要性を訴える意見も出た。

提言：スポーツ施設をはじめ様々な観点から高齢者、障害者の健康づくりに資する取組を推進するよう求めた。

(3)部活動の地域移行について

執行部から現状の取組や今後の考え方について聞き、人材不足、費用負担、地域ごとの違いなど、様々な課題はあるものの、教職員の負担軽減をはかるため、部活動の地域移行を国の方針に準じ推進していきたいということを確認した。当委員会においては、一度にすべての部活動を地域移行するのではなく、外部指導者を用いて、教育的指導や運用が上手くいっている部活動から、段階的に地域移行していくことのほうが良いのではないかと、といった意見も出た。

提言：国の動向を注視しつつ、部活動の機会を失うことなく、本市の現状に即した取組を進めることを求めた。

以上

令和6年 文教厚生常任委員会所管事務調査項目

1. 子ども・子育てについて

(1－R6/8/22 調査終了) 学校施設について

※委員会として一定の調査の目途がついたため

(2) 放課後児童クラブの指導員不足について

(3) 入所待ち児童、保育士不足について

(4－R6/8/22 新規追加項目) 子育て世帯への支援の充実について

2. スポーツ環境について

(1) 現在の施設の状況及びグラウンドの不足について

(2) 高齢者・障害者の健康づくりについて

(3) 部活動の地域移行について

令和6年 文教厚生常任委員会 所管事務調査項目

1. 子ども・子育てについて

(1-R6/8/22 調査終了) 学校施設について

＜学校施設について＞

令和6年2月26日に現地視察（田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校）及び市内小中学校における校舎修繕等の対応状況と今後の対応予定について所管事務調査を行い、同年8月22日にその後の経過も含め、再度、同内容の所管事務調査を行った。

校舎修繕等の対応状況については、引き続き対応が必要なものはあるものの、市執行部において、個別案件への応急対応、さらに学校からの要望を受け、必要な予算措置を行い対応していくもの、大規模なもので計画を立てて対応していくものなど、それぞれ対応されており、また、今後も校舎の修繕等について、学校からの要望があれば、市執行部として、可能な限り対応していきたいとの見解を受け、当委員会としても引き続き丁寧な対応をお願いし、この件に関し、今後も注視していくことを確認した。

令和 7 年 文教厚生常任委員会所管事務調査項目

1. 子ども・子育てについて

(1－R6/8/22 調査終了) 学校施設について

※委員会として一定の調査の目途がついたため

(2) 放課後児童クラブの指導員不足について

(3) 入所待ち児童、保育士不足について

(4－R6/8/22 新規追加項目) 子育て世帯への支援の充実について

2. スポーツ環境について

(1) 現在の施設の状況及びグラウンドの不足について

(2) 高齢者・障害者の健康づくりについて

(3－R7/4/3 調査終了) 部活動の地域移行について

※委員会として一定の調査の目途がついたため

令和6年 文教厚生常任委員会所管事務調査行程表

- 1 日 程 令和6年2月13日（火）
 2 場 所 田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校
 3 視察者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
委 員 長	樋口伸一郎	委 員	田村 弘子
副 委 員 長	成富 牧男	委 員	緒方 俊之
委 員	中川原豊志	委 員	牧瀬 昭子
委 員	西依 義規	議 会 事 務 局	松雪 望

4 行 程

行 先	時 間	日 程	備 考
田代 小学校	10:00 10:10	鳥栖市役所 ⇒ 田代小学校 	公用車
	10:10 10:20	田代小学校体育館視察	
	10:20 10:30	会議室等での懇談（他に修繕箇所がないか）	※対応が可能であれば結構です
	10:30	田代小学校出発 	公用車
田代 中学校	10:30 10:40	田代中学校到着 	公用車
	10:40 10:50	議会報告会で出た「ドアの揺れを直してほしい」ところ	
	10:50 11:00	会議室等での懇談（他に修繕箇所がないか）	※対応が可能であれば結構です
	11:00	田代中学校出発 	公用車
鳥栖 中学校	11:00 11:10	鳥栖中学校到着 	公用車
	11:10 11:20	雨漏り箇所 （1階教室前棚付近廊下、東側廊下など）	
	11:20 11:30	会議室等での懇談（他に修繕箇所がないか）	※対応が可能であれば結構です
	11:30 11:40	鳥栖中学校 ⇒ 鳥栖市役所 	公用車

※時間については、多少前後するかもしれません。

※会議室等での懇談につきましては、学校側の対応が可能であれば結構です。

お時間の都合等で対応ができなくても構いません。

※なるべく生徒の邪魔にならないようにと考えておりますので、授業中等で対応ができない箇所がある場合はその場でお伝えください。

令和6年 文教厚生常任委員会所管事務調査

1 日 程 令和6年2月16日（金） 午前10時から

2 場 所 第3委員会室

3 参加者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
委 員 長	樋口伸一郎	委 員	田村 弘子
副 委 員 長	成富 牧男	委 員	緒方 俊之
委 員	中川原豊志	委 員	牧瀬 昭子
委 員	西依 義規	スポーツ文化部長	石丸 健一
スポーツ振興課長	小川 智裕	課 長 補 佐	時田 丈司
振 興 係 長	佐藤 義勉	議 会 事 務 局	松雪 望

4 議 題

議 題	内 容
1. スポーツ都市宣言について	・ 現状報告 ・ 質疑応答
2. 市民プールについて	・ 現状報告 ・ 質疑応答
3. サガン鳥栖U-15練習場について	・ 現状報告 ・ 質疑応答

令和6年 文教厚生常任委員会所管事務調査

1 日 程 令和6年2月26日（月） 午前10時から

2 場 所 第3委員会室

3 参加者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
委 員 長	樋口伸一郎	委 員	田村 弘子
副 委 員 長	成富 牧男	委 員	緒方 俊之
委 員	中川原豊志	委 員	牧瀬 昭子
委 員	西依 義規		
教育総務課長	佐藤 正己	総 務 係 長	城島 直也
		議 会 事 務 局	松雪 望

4 議 題

議 題	内 容
1. 田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の校舎修繕等の対応状況と今後の対応予定	・ 報告 ・ 質疑応答
2. 田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校以外の市立小中学校校舎修繕等の対応状況	・ 報告 ・ 質疑応答

令和6年 文教厚生常任委員会所管事務調査

1 日 程 令和6年8月22日（木） 午後1時30時から

2 場 所 第3委員会室

3 参加者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
委 員 長	樋口伸一郎	副 委 員 長	成富 牧男
委 員	中川原豊志	委 員	西依 義規
委 員	田村 弘子	委 員	牧瀬 昭子
スポーツ文化部長	石丸 健一	スポーツ振興課長	小川 智裕
課 長 補 佐	時田 丈司	振 興 係 長	佐藤 義勉
教育総務課長	佐藤 正己	課 長 補 佐	西木 純子
議 会 事 務 局	古賀 隆介		

4 議 題

議 題	内 容
(1)スポーツ環境について ・ 市民プール、サガン鳥栖U-15練習場	・ 現状報告 ・ 質疑応答
(1)スポーツ環境について ・ 高齢者・障害者の健康づくりについて ・ 部活動の地域移行について	・ 協議事項の確認
(2)子ども・子育てについて ・ 学校施設について（田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の 校舎修繕等及びそれ以外の市立小中学校校舎修繕等の対応状況 と今後の対応予定）	・ 現状報告 ・ 質疑応答
(2)子ども・子育てについて	・ 協議事項の確認

令和6年 文教厚生常任委員会所管事務調査

1 日 程 令和6年11月26日（火） 午後1時10時から

2 場 所 第3委員会室

3 参加者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
委 員 長	樋口伸一郎	副 委 員 長	成富 牧男
委 員	中川原豊志	委 員	西依 義規
委 員	田村 弘子	委 員	牧瀬 昭子
健康福祉みらい部長	古賀 達也	こども育成課長	高松 隆次
課 長 補 佐	脇 友紀子	係 長	野中 潤二
健康増進課長	八尋 茂子	課 長 補 佐	井ノ上克子
議 会 事 務 局	古賀 隆介		

4 議 題

議 題	内 容
1. 子ども・子育てについて (4) 子育て世帯への支援の充実について	・ 現状報告 ・ 質疑応答
2. スポーツ環境について (1) 現在の施設の状況及びグラウンドの不足について (2) 高齢者・障害者の健康づくりについて	・ 協議事項の確認

令和7年 文教厚生常任委員会所管事務調査

1 日 程 令和7年4月17日（木） 午前10時から

2 場 所 第3委員会室

3 参加者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
委 員 長	樋口伸一郎	委 員	田村 弘子
副 委 員 長	成富 牧男	委 員	緒方 俊之
委 員	中川原豊志	委 員	牧瀬 昭子
委 員	西依 義規	議 会 事 務 局	前田 肇之

4 議 題

議 題	内 容
1. スポーツ整備エリアの考え方、現在の進捗と今後について	・ 協議事項の確認
2. 放課後児童クラブの指導員不足について	・ 協議事項の確認
3. 入所待ち児童、保育士不足について	・ 協議事項の確認

人材確保に関するアンケート報告書

令和7年6月から7月にかけて、鳥栖市内の放課後児童クラブ、公立・私立保育所、認定こども園および幼稚園を対象に、支援員・保育士・幼稚園教諭として勤務する管理職以外の全職員に対し、人材確保の現状に関するアンケート調査を実施した。その結果の概要について、以下の通り報告する。

鳥栖市議会 文教厚生常任委員会

1. 回答概要

- 回答数：167件
- 「人材が不足していると感じる」と答えた割合：78.9%

2. 所属別の回答状況（複数回答）

所属種別	回答数	割合
私立保育所	54件	32.5%
放課後児童クラブ	43件	25.9%
公立保育所	37件	22.3%
認定こども園	21件	12.7%
幼稚園	12件	7.2%

3-1. 人材不足の主な要因（複数選択、n=133）

要因	回答数	割合
配慮が必要な子どもや保護者が多い	80件	60.2%
給与や待遇面	75件	56.4%
勤務時間や労働環境	61件	45.9%
定員・配置基準に対して業務が多すぎる	30件	22.6%
離職率が高い	24件	18.0%
保育以外の仕事が多い	20件	15.0%
有資格者が確保できない	19件	14.3%
その他（的確な指示が出せない、年齢層が高い等）	数件	0.8%ずつ

3-2. 人材不足の主な要因（所属別による分析・上位3項目）

私立保育所の主な要因 128 件	回答数
給与や待遇面	39 件
配慮が必要な子どもや保護者が多い	26 件
勤務時間や労働環境	21 件

放課後児童クラブの主な要因 50 件	回答数
配慮が必要な子どもや保護者が多い	10 件
給与や待遇面	10 件
勤務時間や労働環境	10 件

公立保育所の主な要因 81 件	回答数
配慮が必要な子どもや保護者が多い	23 件
給与や待遇面	19 件
勤務時間や労働環境	15 件

認定こども園の主な要因 32 件	回答数
配慮が必要な子どもや保護者が多い	14 件
勤務時間や労働環境	8 件
定員・配置基準に対して業務が多すぎる	5 件

幼稚園の主な要因 19 件	回答数
配慮が必要な子どもや保護者が多い	8 件
給与や待遇面	4 件
勤務時間や労働環境	4 件

4. 自由記述に見る主な改善要望（n=79）

【1】給与・待遇面の改善

- ・ 給料アップ、昇給の要望が多数。
- ・ 「仕事量や責任に比して給与が低すぎる」「他職種より低い」との声。
- ・ 処遇改善費の透明性向上、直接支給の要望もあり。

【2】人員配置と業務量

- ・ 「1歳児6人に1人の配置は無理がある」「トイレに行く時間もない」
- ・ 配置基準見直しの要望が多く、特に**加配人員の不足**が顕著。時短勤務の導入を求める声。
- ・ 職員不足により「休みが取りづらい」「精神的に追い込まれる」など。
- ・ 放課後児童クラブにおいて、「土曜日の他の学校との共同保育の実現、土曜保育の廃止または効率化」といった声も。

【3】保育士の支援・専門的支援

- 作業療法士や言語聴覚士の配置、巡回支援など「療育支援体制の強化」を求める声がある。
- 配慮が必要な子への対応に苦慮しており、「5歳検診の早期導入」「検査が通らないと加配がつかない」制度の改善要望も。

【4】職場環境の改善

- 特に放課後児童クラブにおいて、パワハラ・セクハラ・人間関係への対応、長年同じ職場の固定化の見直しなどの声。
- 「定年制の導入」「現場の声を聞いて」「職員配置の柔軟性を持たせて」といった制度的改善を求める意見。

【5】保護者対応の負担

- 「理不尽なクレーム」「モンスターペアレント」などカスハラ対応の限界を訴える声。
- 「国や自治体が相談窓口を持って対応すべき」「施設単位での弁護士雇用」といった要望も。

5. 総合的な所見・提言

1. 給与水準と処遇の改善は喫緊の課題
→ 保育士や支援員のモチベーション低下・離職の要因。
2. 配置基準の見直しと支援体制の強化が求められる
→ 特に「配慮が必要な子ども」への対応に限界が見える。
3. 職場環境（人間関係・組織運営）への支援策が必要
→ 心理的安全性のない環境は人材確保にも大きく影響。
4. 保護者・社会全体との共通理解づくりが不可欠
→ 保護者支援と園側支援の両輪による関係構築が望まれる。